

令和7年度 笠松小学校教職員 働き方改革アクションプラン

～仕事も休みも全力で！笠松ワクワク改革～

笠松小学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状

[定量的現状]

◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」目標達成状況について
「時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。」

・R7年度目標:1人(R6年度:3人)

「時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。」

・R7年度目標:0人(R6年度:1人)

[定性的現状]

○ 教職員の意識

・当校で推進する安全衛生委員会の取組が全教職員に徹底されている。
・時間外勤務している教職員が固定している。

○ 管理職のマネジメント

・見通しを持った仕事の仕方、業務マネジメントを行おうとしている。
・校務支援システムによるDX化があまり進んでいない。

2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

○ 北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に掲げるR7年度の目標を達成します。

○ 本校に勤務する先生方の健康と教育の質の向上を目指します。

<目指す姿>

・子供たちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しを図られている。

・業務改善について、教員から積極的に提案がなされている。

・働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。

・管理職が日頃から、教職員に対し在校時間短縮の働きかけを行っている。

・教職員が、教材研究や子供に向かい合う時間を十分に確保できている。

・教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・働き方改革プランの勤務時間の縮減の取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。
- ・ノー残業デーを設定し、週に一度は定時退庁をします。
- ・管理職が、休暇取得について積極的に声掛けをします。
- ・月の途中で月の時間外在校等時間が45時間超となった教職員に対して、当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から、面接をします。
- ・健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・管理職が、業務の見直しについて積極的に提案します。
- ・校務支援システムを用いた校務のDX化を推進することにより、業務の効率化を進めます。
- ・職員の意識改革を目的に、職員会議等での実践紹介を行います。
- ・定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定します。(安全衛生委員会等)
- ・行事等について、安易にコロナ禍前に戻すことなく、教育において真に必要な観点から日常的に業務の見直しを進めます。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・登下校における見守りを引き続き地域にお願いし協力を得ます。
- ・対外的行事や作品募集について、業務の適正化を図るよう関係団体との協議を進めます。
- ・地域行事への参加について、地域の理解・協力を得て対応します。
- ・教職員参加の地域行事等について、学校の実情を踏まえて精選等を行います。
- ・働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解いただけるよう校報等を通じて周知します。

令和7年5月20日 笠松小学校長 黒澤和則

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

○ 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

(1) 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。

(2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。

〔・令和6年度実績(6月調査) 228人 割合 42.0%〕

〔・令和6年度実績(6月調査) 27人 割合 5.0%〕